



かわさき

令和3年度川崎小
学校だより
第28号
12月20日発行
文責 校長

親子で一緒に取り組む家庭学習「コロナウイルス感染症をめぐって」

先日、コロナウイルス感染症に関連して、感染した方や医療に従事される方々、そしてそのご家族に対する差別や偏見、誹謗中傷等が今後も起きないことを願って、親子で取り組む家庭学習をお願いしましたところ、ほとんどのご家庭にご協力をいただき、ありがとうございました。それぞれのワークシートには「差別や偏見は行わない」という考えや「医療従事者の方々への応援メッセージ」があふれていました。応援メッセージの中から、いくつかを紹介させていただきます。

看護師やお医者さんへの「おうえんメッセージ」

(※ 読みやすさを考えて、部分的に平仮名を漢字に変換しています。)

1年 毎日一番近くでコロナとたたかってくれて、ありがとうございます。
患者さんを助けるためにいつもがんばってくれてありがとう。ぼくたちも感染しないように気をつけます。休めるときに休んでください。



2年 とてもすごいことをしていると思います。健康に気をつけて仕事をしてほしいです。
患者さんを助けるためにがんばってくれてありがとう。



3年 毎日コロナで困っている人を助けてくれてありがとうございます。お医者さんも看護師さんも、いつコロナに感染してしまうかもしれないという不安の中、困っている人のために働いていることに心から感謝しています。

今のぼくたちにできることをやることで病院の先生や看護師さんたちの負担を減らせるようがんばります。いつもありがとうございます。

4年 もし自分が感染したらどうしようと思っても、まずは患者さんのことを大切にして助けようとしている姿がかっこいいと思います。

大切な命を救ってくれてありがとう。看護師さんとお医者さんのおかげで、今、生活できているんだと思います。

【裏に続きます】

5年 いつもコロナの患者さんのためにがんばってくれていて、本当にありがとうございます。医療従事者のみなさんは、本当に最前線で戦っていてすごいなあと思います。これからも大変だと思いますが、がんばっていきましょう。

感染した方を決して差別せず、がんばっている看護師さんやお医者さんはすごく素晴らしいと思います。これからもたくさんの人のためにがんばってください。本当にありがとうございます。

6年 常に危険と隣り合わせで生活していて、不安は数え切れないと思います。私達はその感謝を忘れずに日々の生活を過ごし、感染対策を続けていきます。どんな時もがんばってくれてありがとうございます。

私達もコロナウイルスにかからないように感染症対策をし、コロナに負けない体をつくっていきます!! だからこれからもコロナに負けないように治療をがんばってください。

※ 6年生のワークシートは保護者の皆様にも記入をお願いしました。

資料は、県内の大きな病院に勤務する若い医師が、感染の不安や家族に感染させてはいけないと思いつつ、一人でも多くの人の命を救いたいと日々頑張っている気持ちを語るという内容です。その資料を読んで心が揺れ動いた場面とその理由を書いていたので、あわせてご紹介させていただきます。



医療従事者は毎日、命をかけて病気と戦っている。同じ一人の人間だけど、毎日家族に会えず、自分の子供・家族に迷惑をかけていないか心配している。

すごく立派な仕事をしているのに嫌なことを言われる。そんなのがかしいです。

防護服を着たり、脱いだりを毎日何回も行って細心の注意を払っていても、無くならない不安と大変さと日々戦っているのだと思うと自分でできることをできる限りやろうと思った。

命と向き合う医師の覚悟は、人知れず大変な想いがあると感じました。この様な方がいるから私達も安心して過ごせると実感しました。

正しく理解されないことはとても悔しかったり、悲しかったりする。どの職種であれ、仕事に向き合う気持ちや覚悟を少しでも想像できる人でありたい。

私達もいつどこで感染してしまうか分からない恐怖の中で生活しています。医療に従事されている方は尚のこと、家族に感染させてしまったらという怖さの中でお仕事されていることに対して、感謝と敬意しかありません。